ジゴキシン	621500
	担当部署
ジゴキシン	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→薬物→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		添付文書において、採血管の分離剤の影響を受けることがあるとの記載があるが、当院採用の採血管においては影響は認められなかった。 血中薬物に対する分離剤の影響検討試験結果
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	トラフ、ピークなどの指示がある場合は、指示通り

	検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部
測定時間	当日中～翌日
生物学的基準範囲	設定なし
臨床判断値	0.5～1.5ng/mL(有効治療濃度) ナノピア TDM　ジゴキシン　添付文書

基準値				単位	ng/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0.5	1.5	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	設定なし
	低値	設定なし
生理的変動要因		特記事項なし
臨床的意義		代表的なジギタリス性強心配糖体。とくに腎機能が低下した患者で至適投与量を知るために血中濃度を測定。ジギタリス製剤の主な作用は、心筋収縮力増強作用、迷走神経興奮作用、神経伝導系抑制作用(主として房室結節)、下位自動能亢進作用、中枢神経系に対する作用などである。ジゴキシンは消化管から 60～85%位吸収され、体内ではほとんど代謝を受けず大部分が腎より排出され、半減期は約 36 時間である。排泄が腎依存性のため腎機能低下者の維持量はクレアチニンクリアランスによって決定されるが、簡便には通常投与量に血清クレアチニンの逆数を乗じた量を投与する方法が用いられる。 三菱化学メディエンス　検査項目解説改訂第 4 版　200,2008